

本時のねらい

・小数のかけ算の筆算につなげるため、九九、かけ算の筆算の解き方、計算の順序を定着させる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ヒントカードを見て、自分で問題に向き合い、解こうとする力をつける。
・覚えきれていない九九を、ゲーム感覚で楽しんで覚えられるようにする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・九九アプリ（九九のトライ） ・学習支援アプリ（ロイロノート・スクール）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○九九の復習をする。 【写真1】	○九九アプリを使い、苦手なところを自分で選択して学習することができる。
展開 (30分)	○ロイロノートで色分けされた筆算のマスに答えを書きこむ。 ○ヒントカードを用いて、自分でプリントの問題を解く。 ※ヒントカード…「かける順番」「小数点の動かし方」 【写真2】	○色分けされた筆算カードを使い、計算する順番が視覚的にわかるようにする。 ○ヒントカードを見て、自分で問題に取り組めるようにする。
まとめ (10分)	○本時のふりかえりを文章で書く。 ○次時に向けためあてをもつ。 【写真3】	○ふりかえり文章のひな型をロイロノート・スクールで用意し、それをヒントに文章を構成できるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】九九アプリを使って九九の復習をしている様子



【写真2】ヒントカードを見て自分で問題を解いている様子



【写真3】ふりかえりを書いている様子

児童生徒の反応や姿容

・九九アプリを使うことで、意欲的に取り組むことができた。また、ロイロノート・スクールの中にある色分けされたヒントカードを使うかどうか自分で選択し、有効に活用していた。
・ふりかえりでは、書き方を示した型を参考にすることで、自分の学習の成果を文章に書き残し、すすんで音読することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・色分けされたヒントカードは、視覚的支援においても有効であった。ヒントカードを使うことで、教師が指導するのではなく、児童が主体的に学習に取り組む態度の育成にもつながった。